

令和2年度 第1号

# 学びへのまなざし

通級指導教室での子ども達との学びを通して  
感じた子育てのエッセンスを不定期ではあります  
が紹介していきたいと思います。

京都市立神川中学校 通級指導教室

担当 玉置宣子

人生の中で、誰もが初めての経験であるこの長い休校期間。ほんの1,2ヶ月前には、まさかこんなことになるとは思ってもいなかったですよね。「人生って、何が起こるかわからない!」と、つくづく感じます。

今、巷ではぐんぐんオンライン化が進み、どちらかと言えばアナログ世代の私たち（ひと括りは失礼ですが）にはとても不安な状況です。「目の前で、手に取って、顔を見て」確認しなければ納得できないことも、パソコンやスマホの小さなフレームの中で進んでいく。もう、とりあえず付いていくのに必死です。けれども、デジタルネイティブと言われる世代の子ども達にとっては、また違った感覚なのではないでしょうか。休校明けには、子ども達にぜひ聞いてみたいと思っています。



## 「想像力を鍛える」ことの大切さ

今の子ども達が生き行く未来は、私たち親には到底予想のできない社会になると思います。だからこそ、今は「想像力を鍛えること」がとても大切だと思います。「目の前で、手に取って、顔を見て」のコミュニケーションが難しい危機の中だからこそ他者の苦しみを思う想像力が必要になると思うのです。昨今子ども達にも見られる社会への善意（手作りマスクやシールドの寄贈や医療従事者へのお礼の手紙等）は、まさにこの想像力の表れであると思います。ニュースで取り上げられるこういう素敵なお話をもとに、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。



## 「せっかくだから」

先日新聞にお年寄りの寄稿文が載っていました。

外出を控える中で始めたこと。①本棚を整理した。②司馬遼太郎の「義経」を読んではまった。③インスタグラムで紹介されていた「モンテクリスト伯」を古本店で買って読み始め、はまった。④台所の水道水の漏れを修理した。（……とまだまだ続きます。）「せっかく」には「なのに」が続きがちだけど、それではどうも視線が下がる。一方で「せっかく」に「だから」をつけると視線が上がって「充実」の2文字が見えてくる。

①～のたくさんの取り組みすべて「せっかくだから」と始められたとのことでした。

確かに、せっかく時間のある今だから、できることをやっておかないと、もったいないですね。

ゆったり時間の流れている今この時、せっかくだからできることを親子で一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

例えば、お料理を極める、シリーズ本の読書、大掃除、筋トレでムキムキに等休校明けに、みんなのチャレンジ報告が聞いたら嬉しいです！



通級指導教室に関するご質問やご相談は、学級担任もしくは  
通級指導担当の玉置までお問い合わせください。